

各施策の紙面構成（ページの見方）

将来像：「自然と歴史に育まれ 笑顔と希望あふれる 活力のあるまち」を実現するための4つの柱です。

政策：「将来像を実現するための4つの柱」を実現するためのみちすじです。

安心 誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり

(1) 誰もが安心して暮らせる地域社会の構築

①多様なつながりと支え合いによる地域福祉を進める

現状と課題



◆小児の核家族化の進行、ライフスタイルの多様化などにより地域コミュニティの弱体化が進んでいるため、地域福祉推進体制の強化が必要です。
現状と課題：本市の現状と課題を示しています。高齢者、障害者、ひとり暮らしの状況にある人などを把握し、適切な支援につなげることが必要です。

◆生活困窮者の抱える課題は、複雑かつ複合的なことも多く、関係機関等が緊密に連携して対応することが必要です。

施策：政策をどのような手段で達成していくかを示します。

施策の方針

施策の方針：「現状と課題」を踏まえ、施策を推進する基本的方向性を示しています。

市民が住み慣れた地域で支え合いながら、支援が行き届く体制の構築と、ユニバーサル社会づくりの実現に向け、誰もが地域社会の一員として、いきいきと安心して暮らすことができるよう、すべての人にやさしい福祉のまちづくりに取り組めます。

また、生活に課題を抱えた人が、それぞれの状態に応じた支援を受け、社会的に自立し、安心して暮らせる支援体制の整備に取り組めます。



福祉に関する相談窓口

序論

基本構想

基本計画

資料編

序論

基本構想

基本計画

資料編

第一章 安心

施策の展開：「施策の方針」を実現するために必要な項目と主要な取組を示しています。

施策の展開

項目	主要な取組
1 地域福祉活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ◇重層的な地域福祉ネットワークの構築 ◇地域福祉を推進する人材育成 ◇地域住民が主体となった活動の支援 ◇関西福祉大学との連携推進 ◇社会福祉法人の地域公益活動の推進
2 地域福祉推進体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ◇市民ニーズの把握と関係機関との連携強化 ◇包括的な相談支援体制の構築 ◇各協議体のさらなる活性化
3 すべての人にやさしい福祉のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇ユニバーサル社会づくりの推進と意識啓発 ◇すべての人に配慮した道路・施設整備の推進
4 生活困窮者の自立の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◇窓口の周知とアウトリーチ※1による相談支援 ◇関係機関との情報共有と連携の強化 ◇個別の支援プログラム ◇地域の社会資源

目標指標：「目標指標」の基準値と5年後、10年後の目標値を掲げています。

目標指標

指標	単位	基準値	目標値		
			2019年度 (令和元年度)	2025年度 (令和7年度)	2030年度 (令和12年度)
福祉ボランティア登録数	★ 人	612	672	722	
集いの場開設数	★ 箇所	114	210	289	

★の目標指標数値は、当該年度における数値を表しています。

関連個別計画

赤穂市地域福祉計画

関連個別計画：この施策を実現するにあたり関係する個別計画名を示しています。

※1アウトリーチ…生活上の課題を抱えながらも自ら援助にアクセスできない個人や家族に対し、家庭や学校等への訪問支援、当事者が出向きやすい場所での相談会の開催、地域におけるニーズ発見の場や関係づくりなどにより、支援につながるよう積極的に働きかける取組のこと。